



読書は自己の頭
によらず、他人の
頭をもって思索す
ることである。
(ショウベンハウエル)

横手市で市立図書館・学校図書館職員合同研修会 「打って出る司書」が広域的にコーディネート

7月20日（金）、横手市の市立図書館職員と市内小・中学校の図書館担当職員を対象に、「実践！図書館ビフォー&アフター」のワークショップ研修が十文字第一小学校で行われました。主催は横手市教育委員会です。

参加した学校図書館担当職員は、「図書館の設備や費用などの限られた条件があっても、利用する子ども達の視点に立ったアイデアを用いることで、魅力的な図書館環境づくりができるんですね。」と感想を述べていました。

今回、双方の職員が一緒に研修することにより、小・中学校の図書館担当者が気軽に市立図書館に相談できる関係が作られ、市立図書館が進める学校図書館支援事業を知ってもらうことができました。



ビフォー（整備前）



アフター（整備後）

この研修会の講師を務めたのは、県立図書館の4人の「打って出る司書」です。彼らは、短時間で効果的な研修となるように、図書館の造りを調べ、昼休みの子どもたちの利用の様子を観察し、改善のポイントを協議するなど、事前準備を入念に行っており、これまでの経験から得られた、図書館の効果的な実践例を紹介し、参加者の今後の活動につながる情報提供をしました。



事前に協議する司書たち

【6月の訪問図書館（図書室等）…のべ11館（室）】

訪問のかたち	回	訪問図書館・公民館図書室
市町村図書館等巡回訪問	7	仙北市総合情報センター・鹿角市立花輪図書館・にかほ市象潟公民館・能代市立図書館・八峰町文化交流センター・男鹿市立図書館・男鹿市立若美公民館
希望に応じて行う研修・支援	4	鹿角市立花輪図書館・北秋田市立鷹巣図書館・由利本荘市岩城図書館・由利本荘市中央図書館



アンダートゥエンティ
ようこそ！【U-20】ストリートへ

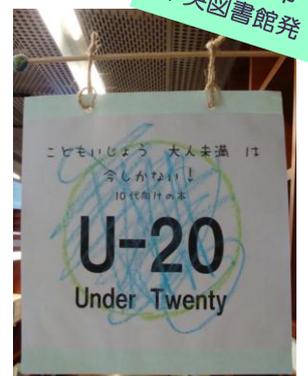
福田真悦

由利本荘市中央図書館で力を入れているコーナーに、【U-20】があります。一般には「YA」（ヤングアダルト）とか「ティーンズ」とか呼ばれている、13歳から19歳の若い大人たちを対象とするコーナーです。

この図書館に来て、最初に手がけたのが、「コーナー」を「ストリート」風に仕上げることでした。現在、幅広い年齢の方が、永遠の10代？という感じで利用しています。また、図書館職員に旗を作ってもらい、アピールしています。「青春のモヤモヤ感」を表現したとのことです。是非、図書館に見に来てください。



【U-20】ストリート



青春のモヤモヤ感！

「市町村子ども読書活動推進計画」策定情報（7月31日現在）

☺ 秋田市の計画が完成しました

☺ 大館市が策定作業に入りました

幼少期からの読書を支える



マザーズ・タッチ文庫 ブックスタート事業

県の子育て支援課では、平成8年度から、「マザーズ・タッチ文庫」の選定と紹介を行っています。これは、親と子が最も親密な関係にある乳幼児期に、絵本の読み聞かせを通して滋味豊かな言葉の世界を楽しみながら、心のふれあいを深め、子どもの情感を大切に育むことを目的としています。リーフレットを手にしたたり「秋田魁新報」の紙面（毎週日曜日）で目にしたりしている人もいます。

また、市町村では、図書館と子育てに関わる行政機関やボランティアが連携し、「ブックスタート事業」を行うところが増えてきました。親子で絵本を開く楽しい体験とともに、赤ちゃんに絵本を手渡す活動です。市町村が最もふさわしいと考える月齢の赤ちゃんを対象に行われています。

男鹿市の新たなブックスタート事業



2歳児歯科検診でのブックスタートの様子

男鹿市は、これまで、10か月健診に来た親子に、読み聞かせをして本を手渡してきましたが、昨年度「子ども読書活動推進計画」を策定したことにより、子どもの成長に合わせ、2歳児歯科検診のときにも、絵本をプレゼントすることにしました。2歳児は、2語文や3語文を話し、次はどうかを予測しながら絵本に向き合うようになります。市立図書館の富岡さんは、「子どもたちに6種類の本を見せると、好きな本を選んでうれしそうに読み始めます。その姿を見て、我が子の成長に気付き、読み聞かせの大切さを再認識するお母さんもいますよ。」と話してくれました。



活動紹介

大 仙 市

子どもの読書活動優秀実践図書館
平成24年度文部科学大臣表彰

大仙市立大曲図書館



大曲図書館での読み聞かせ

大曲図書館は、「子ども読書活動推進計画」の策定にあたり、中核的な役割を果たし、大仙市民図書館8館の基幹を担う総合図書館です。

毎週水曜日の「おはなしを聞く会」、4か月健診のときに行う「ブックスタート事業」、学校図書館ボランティア

や親子を対象とした「研修会」の実施、「図書館へ行こう」と「新着本のブックリスト」の発行と学校への配付、「子ども読書支援センター」における相談への対応など、積極的に子どもの読書活動を進めています。

返却時に書いてもらった「私のおすすめ本」と題したミニミニ感想文を毎月掲示することで、子どもたちの読書への関心が高まってきました。



大阿仁公民館に「図書ひろば」オープン

北秋田市大阿仁地区の公民館に「図書ひろば」がリニューアルオープンしました。6月20日（水）には、「谷京子さんによるおはなし会」を開催し、お披露目しました。

地域住民による寄贈図書に加え、閉校になった合川高校の図書室の資料や書架を活用して、図書コーナーを充実させました。また、いろいろな椅子が置かれ、心安らぐ読書スペースになっています。

北秋田市では、市内全ての図書館と図書室の蔵書をオンライン化し、最寄りの図書館（室）に読みたい本を取り寄せて借りることが可能になりました。



玄関横の「図書ひろば」には、公民館を訪れた人が手にしたくなる本がいっぱい

秋田県教育庁生涯学習課
生涯学習・読書推進班



URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>